

令和3年度 事業報告書 令和3年度 決算書

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

社会福祉法人小郡市社会福祉協議会

令和3年度事業報告

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

—目次—

事業総括	P 1
事業概要		
1. 社会福祉協議会運営基盤の強化	P 2
2. 相談事業	P 4
3. 資金貸付事業	P 14
4. 福祉バス（さちかぜ号）運行事業	P 19
5. 共同募金会（小郡市支会）	P 19
6. 在宅福祉活動	P 21
7. ボランティア情報センター事業	P 23
8. 福祉・ボランティア団体活動支援	P 28
9. 福祉教育事業	P 30
10. 地域福祉活動	P 32

令和3年度事業総括

長引く新型コロナウイルス感染症の影響は、離職・減収に陥った世帯、特に生計中心者が中高年の場合は、求職活動が上手くいかず継続的に困窮しています。

また、老齢年金とわずかな就労収入で生活していた高齢者が離職した場合、求職活動しても就労できず、選択肢としては生活保護しかないと言ったケースが増加。更には不安定収入や日雇、低収入、心身の疾患など元々困窮していた世帯からの相談が増えてきています。

国は、コロナ特例貸付の要件緩和や申請簡略化を行い、度重なる受付期間延長をしこのまま借金を増やしてよいのかと思われる申請が多くなっています。

また、申請要件緩和によって、社協は安易にお金を借りられる機関と認識されたいと思われることがあり、特例貸付受付期間終了後どのように対応するのか検討しなければなりません。

このような中、前年度に引き続き社協・生活支援活動強化方針「第2次アクションプラン」及び「第2次小郡市地域福祉活動計画」に基づき「相談機能の強化」を推進しました。

相談機能の強化として「福祉なんでも相談」を開設し、担当職員を明確にしている生活困窮、ボランティア、判断能力低下による生活支援、資金貸し付けなど各係別の相談とは別に、職員全体で受け止め組織的に対応し部門間横断の相談支援体制づくりに努め、相談しやすい仕組みとしてホームページを活用し24時間問い合わせフォームを開設しました。

この「福祉なんでも相談」の成果は「どこに相談してよいかわからなかった」という方々からの声に表れ、また、個別の課題に対して多機関協働によって解決に向けた取り組みも行っております。

しかしながら相談内容によっては対応に戸惑うケースも少なくなく、より職員の資質向上や専門機関との連携がより一層必要になっております。

その他、地域に出向き相談活動を行うため、生活支援コーディネーター及び相談支援包括化推進員を配置しました。しかしながら、長引く新型コロナウイルスの影響を受け校区、区単位の話し合いの場に積極的に出向くことが厳しい状況でした。

そのような中で、生活支援コーディネーターによる地域での交流の場、活動の場の調査や地域支え合い講座を開催し、コロナ禍でも活動しているところの工夫や、活動している方だけではなく活動に興味関心がある方と「地域の支え合い活動」の仕組みを学びました。

小郡市社会福祉協議会新型コロナウイルス感染症対策について

1. コロナ特例貸付
2. 住居確保給付金
3. 新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金
4. 新型コロナウイルス感染者等への買い物代行支援
5. 新型コロナウイルス感染症における特別定額給付金寄付を財源とする物資支給

事業概要

1. 社会福祉協議会運営基盤の強化

(1) 福祉基金積立

地域福祉活動を計画的に実施するための福祉基金として、令和3年度の残高は71,867千円です。

(2) 賛助会員制度の推進

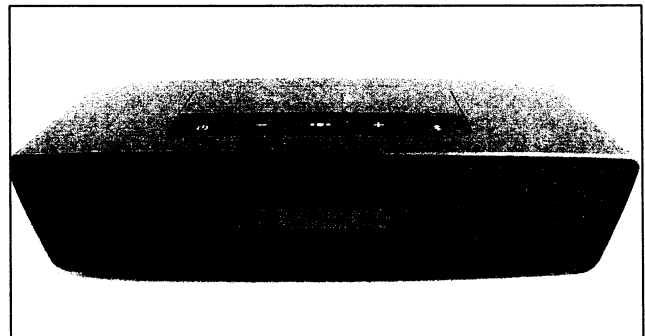
市民の「福祉参加」として社協事業に賛同いただき、会費を通して様々な福祉活動を資金面で援助いただくため、賛助会員制度の推進に取り組みました。

会 員	件 数	会 費 額 合 計
個人会費	252 件	381,000 円
法人・団体会費	31 件	202,000 円
戸別会費		2,587,090 円
計	283 件	3,170,090 円

(3) 香典返し、寄付金等の受入れ

市民の方から、また団体から福祉活動に活用してほしいと温かいご寄付をいただきました。

	件 数	寄付金額合計
香典返し寄付	11 件	760,000 円
一般寄付	32 件	593,194 円
物品寄贈	2 件	
計	45 件	1,353,194 円



寄贈 久留米法人会
両開き書庫・大音量携帯スピーカーを寄贈
いただき、ボランティア情報センターに設置し
活用させていただいています。

(4) 役員会等の開催

健全な事業運営のため、理事会・評議員会等を開催し、社協全体の事業等に関する審議を行い、事業の健全経営や透明性を図るため、監事による会計監査を実施しました。

名 称	期 日	内 容
監 査	令和3年5月18日	・令和2年度第3期監査（決算監査）
理 事 会	令和3年6月10日 決議の省略 （書面による議案 同意を得た）	・令和2年度事業報告（案）について ・令和2年度収支決算（案）について ・定款施行細則の一部改正について ・理事候補者（学識経験者）の同意について ・評議員候補者の推薦及び 評議員選任・解任委員会の開催について ・定時評議員会について ・会長の職務執行状況について
評議員選任・ 解任委員会	令和3年6月11日	・評議員の選任について ・次期評議員の選任について
評議員会	令和3年6月28日	・令和2年度事業報告（案）について ・令和2年度収支決算（案）について ・理事の選任について ・監事の選任について
理 事 会	令和3年6月28日	・会長の選定について ・副会長の選定について
監 査	令和3年9月17日	・令和3年度第1期監査
監 査	令和4年1月25日	・令和3年度第2期監査
理 事 会	令和4年3月18日	・令和3年度収支補正予算について ・令和4年度事業計画（案）について ・令和4年度収支予算（案）について ・役員等賠償責任保険契約締結について ・定款の変更について ・職員就業規則の一部改正について ・嘱託職員就業規則の一部改正について ・臨時職員就業規則の一部改正について ・育児・介護休業等に関する規則について ・評議員会について ・会長の職務執行状況について
評議員会	令和4年3月28日	・令和3年度収支補正予算について ・令和4年度事業計画（案）について ・令和4年度収支予算（案）について ・定款の変更について
監 査	令和4年5月17日	・令和3年度第3期監査（決算監査）

(5) 職員研修への参加及び実施

福岡県社会福祉協議会・両筑地区社会福祉協議会連絡会等が実施する各種研修・講習会への参加は、新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら参加するとともにオンラインを活用した会議・研修会に積極的に参加し、福祉施策やニーズの変化に対応できるよう職員の資質向上に努めました。

2. 相談事業

(1) 無料法律相談会の実施

弁護士による身近な法律相談窓口として無料法律相談会を実施

毎月第2・4木曜日 13:00~16:00	実施回数 21回	弁護士1名 福岡県弁護士会筑後部会から派遣
--------------------------	----------	--------------------------

○会 場 あすてらす 会議室2

【相談実績】

① 相談者

年 代		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代~	不明
125名	男性	0	2	4	11	16	10	6	0
	女性	2	4	14	11	14	19	10	2

② 相談内容別件数 *一件の相談に複数相談内容有

相談内容	件数	相談内容	件数
相 続	44	健 康	1
離 婚	18	土地・境界	9
多重債務	3	事 故	2
借金・金銭トラブル	7	近所トラブル	6
保証人	1	介 護	2
年 金	1	障 が い	2
住 宅	6	契約トラブル	9
家族親族トラブル	3	そ の 他	16
結 婚	1	合 計	131

(2) 他機関による無料相談会

相談会	開催日	場 所	主 催	利用 件数
無料調停 相談会	令和3年 11月14日(日) 9:00~15:00	小郡市総合保健福祉 センターあすてらす 2F 視聴覚室	久留米調停協会	8件

(3) 生活困窮者自立相談支援事業

様々な理由によって生活困窮に陥った方の包括的な相談に応じ面談を行い、本人の同意のもとに支援計画を作成し、伴走型の支援を行う生活困窮者自立支援事業を受託し実施しました。

① 令和3年度新規相談件数

【令和3年度月別新規相談件数】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	24	22	20	21	11	19	30	33	17	16	20	19	252
プラン策定前に終了	20	20	19	20	10	18	30	28	16	15	20	14	230
情報提供・相談対応のみで終了	0	3	1	5	1	3	4	1	3	4	1	2	28
プラン策定前に支援中断終了	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他機関へのつなぎ	20	17	18	15	9	15	26	27	13	11	19	12	202
生活福祉資金の申請または検討	0	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	0	6
緊急援護資金の申請または検討	0	0	1	0	0	1	1	4	0	0	0	0	7
日常生活自立支援事業に移行	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
生活保護へつなぎ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
コロナ特例貸付のみ	19	15	14	14	9	13	23	20	11	8	17	11	174
コロナ特例貸付・住居確保給付金	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
住居確保給付金のみ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
その他関係機関	1	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	1	8
プラン策定	4	2	1	1	1	1	0	5	1	1	0	1	18
支援終結	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
支援継続中	2	2	1	1	0	1	0	5	1	1	0	1	15
中断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未同意・同意に向けての取り組み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4

- 平成29年度からの継続支援 1件
- 平成30年度からの継続支援 1件（令和3年度終結1件）
- 平成31年度・令和元年度からの継続支援 6件（令和3年度終結2件）
- 令和2年度からの継続支援 19件（令和3年度終結9件 中断1件）
- 令和3年度末（新規を除く）継続支援 14件

② 相談者の来所経路

関係機関	福祉課生活福祉係（生活保護）	13件	計 252件
	高齢者関係機関	2件	
	障がい者関係機関	3件	
	子育て関係機関	11件	
	医療機関	0件	
	民生委員・区長等	1件	
	その他関係機関	5件	
本人直接	213件		
家族・知人	4件		

③ 資源活用及び開発状況

1	食糧・物品等支援について
	①社会福祉法人美光瑞園会（天心園パン） 令和元年7月23日 食品譲渡について覚書
	②フードバンク福岡 平成30年3月8日基本合意書 令和3年度 計23回受給
	③共栄資源管理センター 遺品等による物品寄付
	④高齢者施設 遺品・退所等による物品寄付

2	市民からの寄付 【食品】米・インスタント食品・缶コーヒー・パン粉・小麦粉・醤油 調味料 【物品】カセットコンロ・洗剤・使い捨てカイロ・大人用紙パンツ 食器・こども用衣類・文具類
3	ふくおかライフレスキュー事業
4	市外広域による物品のやり取り 他市町社会福祉協議会による寄贈物物品のやり取り

④ 支援調整会議開催

回	開催日	新規計画 案件	継続支援 案件	終結 案件	中断 案件
第24回	5月28日 書面開催	8	2	0	0
第25回	8月10日	4	2	3	0
第26回	10月26日	5	7	3	1
第27回	12月21日	5	5	4	0
第28回	3月26日 書面開催	3	3	6	0

⑤ 研修会、連絡会議等

7月13日	令和3年度筑後地区高齢者障害者支援連絡協議会の事例検討会
10月27日	令和3年度生活福祉資金（教育支援資金）事務説明会
11月10・26日	令和3年度自立相談支援事業従事者養成研修 WEB開催
11月12日	福岡県法律相談合同研修会
12月14日	令和3年度筑後地区高齢者障害者支援連絡協議会研修会
1月20・21日	令和3年度生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修 WEB開催
2月8日	令和3年度筑後地区高齢者障害者支援連絡協議会事例検討会 書面開催
2月9・10日	ふくおかライフレスキュー事業 サポーター養成研修 WEB開催
2月24・25日	令和3年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修（後期） WEB開催
3月2日	生活困窮者自立相談支援員向け居住支援に関する研修会 動画配信
3月18日	令和3年度生活困窮者自立支援事業従事者スキルアップ研修 WEB開催
3月29日	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急小口資金特例貸付けに関する事務説明会 WEB開催
4月27日	令和3年度生活困窮者支援事業研修会 動画配信
5月2日	動画配信

(4) 住居確保給付金支給事業

* 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支給対象者の拡大

生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者住居確保給付金の支給対象の拡大
(令和2年4月20日厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室)
について事務連絡があり、支給対象者が拡大され申請者が増えています。

改正後	改正前
<ul style="list-style-type: none"> ・事業を行う個人が当該事業を廃止した場合 ・就業している個人の給与その他の業務上の収入を得る機会が当該個人の責めに帰すべき理由又は当該個人の都合によらないで減少し、当該個人の就労の状況が離職又は前文の場合と同等程度の状況にある場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・離職又は廃業した日から2年を経過していない方

令和2年4月20日通知：初回申請／3ヵ月

但し常用就職が出来なかった場合は延長・再延長申請可
最長9ヵ月間の支給可

令和2年12月8日通知：再々延長申請可／最長12ヵ月の支給可

但し令和2年度内の新規申請者のみ

令和3年 2月1日通知：特例措置再支給申請可

令和3年3月31日（のちに6月末までに変更）までの間に支給が終了したもので、引き続き経済的に困窮が続く場合
* 受給期間中求職活動が必須

●申請者（令和2年新規申請者）

申請者数	35件
初回受給〈3ヵ月間支給〉 * 35件申請内不支給1件、取り下げ4件 ・ コロナ特例貸付と併用申請者（27件） ・ 母子、父子世帯（9件）	30件
延長受給〈6ヵ月支給〉 * 25件申請内2件不支給	23件
再延長受給〈9ヵ月間支給〉 * 18件申請内3件不支給	15件
再々延長受給〈12ヵ月間支給〉 * 10件申請内1件不支給	9件
再支給受給 * 9件申請内1件不支給	8件

●申請者（令和3年新規申請者）

申請者数	11件
初回受給〈3ヵ月間支給〉 ・ コロナ特例貸付と併用申請者（8件） ・ 母子、父子世帯（4件）	11件
延長受給〈6ヵ月支給〉 * 5件申請内1件不支給	4件
再延長受給〈9ヵ月間支給〉 * 3件申請内1件不支給	2件
再々延長受給〈12ヵ月間支給〉	1件
再支給受給	0件

(5) ふくおかライフレスキュー事業小郡地区連絡会

平成27年度末に「社会福祉法等の一部を改正する法律」が成立し、公益性、非営利性が極めて高い社会福祉法人には、「地域における公益的な取組み」を実施することが責務として規定されました。

このような状況の中、福岡県社会福祉協議会では、地域における公益的な取組みのひとつとして、県内の社会福祉法人が団結し、生活困窮等に陥っていても既存制度では解決できずに困っている方々等に対して、地域の社会福祉法人がそれぞれの専門性や社会資源を活かして支援を行う「ふくおかライフレスキュー事業」を進め、小郡市内においても平成31年2月に「小郡地区連絡会」を発足し下記事業を実施しました。

①ライフレスキュー事業申請 1件

ケース1	首のステント手術が必要だが、費用が無い *サポーター 小郡市西地区地域包括支援センター（長生会）	手術費の支払い
------	--	---------

②小郡地区連絡会の開催 *新型コロナウイルスの影響により書面決議で同意

1月28日 【参加団体】 市内15法人 協力事業所1社 市福祉課・介護保険課	【協議事項】 1. 令和2年度事業報告について 2. 令和3年度事業計画予算について 3. ライフレスキュー通信について 4. 福岡県災害派遣福祉チームについて
--	--

③ライフレスキュー事業以外の公益事業について

●もったいないプロジェクト

地域の方から寄せられる寄贈物をストックし、必要とされる方との調整を行う。

令和3年9月から期間限定で、寄せられた紙おむつ、紙パンツ、パッドなど臨時窓口を設置し配布しました。

臨時窓口：(社福)長生会・養護老人ホーム池月苑・社会福祉協議会

●ふくおかライフレスキュー事業小郡地区連絡会による清掃支援

清掃支援は認知症や様々な要因により、生活する上で衛生環境の悪化が著しく見られ、保健衛生上何らかの支援が必要にもかかわらず、経済的な理由等により改善が困難な方に対し、当会会員及び支援団体の中から無償での支援協力を頂ける方を募りサービスを提供する。

ケース1	家賃滞納により退去し、元同居家族の家財、ごみの処分
ケース2	障害のある親子の庭木の剪定枝等の処分
ケース3	生活保護申請者の転居に伴う、家財等の処分

(6) 日常生活自立支援事業

高齢者や障がいのある方で、判断能力が十分でなくても地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用援助や預金通帳印鑑等の預かり、公共料金等の支払いの代行を行うサービス事業を実施しました。

複合的なサービスの支援が必要となっている一人暮らしの高齢者や精神障がい者から、専門員に寄せられる日常的な生活相談が増えています。

専門員 2名 (1名兼任)	困りごとや悩みごとの相談を受け、相談者からの要望をもとに適切な支援計画をつくり、契約を行い、継続して相談支援を行う。
生活支援員 4名	支援計画に沿って、定期的に訪問。福祉サービスの利用手続きや、預貯金の出し入れを行う。臨時職員として雇用契約をしている。

●契約者数（令和3年4月1日から令和4年3月31日）

日常金銭管理	年金・福祉サービス利用料・医療費・公共料金・生活費の支払い、預貯金の払い出し、預入等の代行	25件
	小郡市社協で通帳の預かり	25件
書類の預かり	年金証書・預貯金通帳・権利書等 (福岡銀行小郡支店貸金庫)	16件

●日常生活自立支援事業訪問活動回数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者	高齢者	11	10	10	15	12	11	13	17	20	15	10	13	157
	知的障がい者	10	9	10	9	10	7	10	9	12	9	15	13	123
	精神障がい者	13	17	14	13	15	14	11	13	15	16	13	15	169
計		34	36	34	37	37	32	34	39	47	40	38	41	449

●日常生活自立支援事業相談状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規契約者	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	5
契約終了者	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	4

(7) 福祉なんでも相談

「住民に身近な圏域」において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備として令和2年度11月に開設した「福祉なんでも相談」は、どこに相談していいかわからない困りごとをお伺いし、関係機関や団体などと連携し、必要なサービスを紹介しながら、相談者と共に考え、問題解決の糸口を一緒に探していくお手伝いをしました。

① 相談実績

●電話・来所等による相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談のみ	0	0	0	1	3	0	0	0	0	2	0	2	8
解決	18	9	4	4	14	1	0	0	0	0	0	2	52
関係機関へ繋ぐ	6	1	6	5	8	6	2	1	1	5	2	9	52
その他	3	2	5	1	2	0	4	1	5	0	0	0	23
支援決定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	27	12	15	11	27	7	6	2	6	7	2	13	135

●相談経路

電話	来所	訪問	その他	計
98	33	3	1	135

●ホームページによる相談

令和3年3月にホームページをリニューアルし、いつでもスマホなどから相談できる「相談フォーム」から相談を受け付けました。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	0	12	4	2	3	3	2	1	0	1	2	31

② 相談内容の一部

電話来所等による相談	ホームページによる相談
介護タクシーについて	コロナ特例貸し付けについて
徘徊している高齢者について	ボランティア保険について
遠方に住む親族からの見守り相談	ボランティア団体の活動日時について
隣人宅の庭木雑草について	脳トレ!!宝満ノートについて
親族からの金銭搾取について	高齢者の金銭管理について

③ 関係機関並びに関係会議等

複合的な問題を抱えた相談や社協の内では解決が難しい課題に対し、関係機関へつなげられるように既存の会議体でネットワークづくりを行いました。

会議名	参加団体	開催日時
社協会議（包括会議）	小郡市地域包括支援センター	4月から2か月毎の第2週火曜日
グローバルネットワークおごおり	市福祉課、こぐま福祉会、サポネットおごおり	年4回
自立支援協議会運営会議	市福祉課、こぐま福祉会、本間病院、サポネットおごおり、わ・Wa・わ	毎月
自立支援協議会ネットワーク会議	市内社会福祉法人等障がい児者関連施設	年3回
利用者支援連絡会	健康課、保育所・幼稚園課、福祉課、子育て支援課	年12回
民児協総務会・全体会	民生委員児童委員協議会	総務会毎月 全体会年4回
市福祉課会議	市福祉課との会議	年10回

④ 多機関による共働の支援体制（ボランティア団体の立ち上げ）

ボランティアからの相談により、障がい児者緊急時見守り支援のボランティア団体「おむすびころりん応援団」発会を目指し、立ち上げ準備会議を3回行いました。

関係機関：市人権・同和教育課、サポネットおごおり、しょうがい者と共に生きるみんなのかえるランド、こぐま福祉会、市社協ボランティアセンター、当事者保護者代表者

(8) 生活支援コーディネーターの活動

高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために、地域の課題や資源を把握し、支援ニーズと生活支援等のコーディネート機能を担いました。地域での助け合いやサービス事業主体等と連携して支援体制の充実・強化を目的としています。

① 生活支援コーディネーターの配置

② 高齢者の地域での居場所・社会参加の場の提案

高齢者地域資源一覧表・マップ作成(6月1日・12月1日発行)

③ 地域支え合い推進員養成講座開催(担い手育成)

開催日	場 所	内 容	講 師
1月14日 15日 17日	人権教育啓発センター あすてらす 三国幼稚園跡地	人生会議ACP 「もしもの時に」	嶋田病院 認定看護師 梅木 倫子氏
1月24日 28日 29日	三国幼稚園跡地 人権教育啓発センター あすてらす	認知症について知ろう！	キャラバンメイト 野々下 みどり氏 木村 太郎氏
2月4日 5日 7日	人権教育啓発セミナー あすてらす 三国幼稚園跡地	介護保険制度や その他の支援	市長寿支援課 中村 律子課長 松枝 枝理子係長

・座談会は、コロナウイルス感染拡大防止の為、令和4年度に延期となりました。

・講座参加人数：延べ38名

④ 会議・連絡会等(オンライン研修)

開催日	内 容
4月28日	合鍵預かり事業会議
5月27日	コミュニティセンター職員研修
7月9日	合鍵預かり事業会議
7月21日	福岡県生活支援コーディネーター初任者研修 (協議体と地域ケア会議の違い)
8月18日	合鍵預かり事業会議
8月24日	第15回生活支援コーディネーター連絡会(生活支援体制整備事業について)
9月1・2日	いきがい・助け合いサミットin神奈川(歩行圏内のコミュニティづくり等)
10月13日	地域包括ケア会議(西包括)事例検討
10月20日	第16回生活支援コーディネーター連絡会(SCとオレンジチームについて)
10月22日	合鍵預かり事業会議
11月11日	地域包括ケア会議(東包括)事例検討

開催日	内 容
11月13日	立石校区 SOS ネットワーク模擬訓練
11月30日	ボランティア連絡会
令和4年 1月12日	地域包括ケア会議(西包括)事例検討
1月28日	地域支援アドバイザー研修
2月10日	地域包括ケア会議(東包括)事例検討
2月28日	第18回生活支援コーディネーター連絡会(群馬県高崎市)
3月22日	地域ケア会議地域課題検討会議

(9) 新型コロナウイルス感染者等への買い物代行支援事業

新型コロナウイルスの感染者・濃厚接触者として保健所から自宅待機を求められた人(世帯)で、親族等周りからの支援を受けることができない人(世帯)に対して食料品や日用品の買い物代行支援を行いました。

【実績】12世帯(内2世帯2回利用)

(10) 新型コロナウイルス感染症における特別定額給付金寄付を財源とする物資支給

令和2年に支給された「新型コロナウイルス感染症における特別定額給付」寄付を財源に物品を購入し、物資100セットを新型コロナウイルスの影響によって生活が困窮し続けている世帯に対し支給。

【物資/シャンプー・リンス・石鹸・歯磨き粉・トイレットペーパー・ティッシュペーパー・指定ごみ袋】



3. 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金及び緊急援護資金

令和3年度も新型コロナウイルス特例貸付に貸付相談が流れ、教育支援資金のみの実績となりました。しかしながら、申請件数は昨年より減少しております。

母子父子世帯の申請が5件、そのうち生活保護受給世帯が1件。

その他の申請が生保世帯1件、障害を持つ世帯の福祉車両1件。

緊急援護資金貸付の内訳は、生活保護初回受給までのつなぎ資金が8件、年金までのつなぎ資金が2件、つなぎ資金ではなく特別な緊急時と判断したケースが2件、令和3年度のみ貸付償還率は87.7%となっています。

【実績】

種類		借入申込件数	貸付決定件数	令和3年度貸付金額
総合支援資金	生活支援費	0	0	
福祉資金	福祉費	3	3	4,839,000円
	緊急小口資金	0	0	
教育支援資金	教育支援費	5	5	4,218,000円
	就学支度費	6	6	*申請は7件、内4件が教育支援費・就学支度金の併用
不動産担保型生活資金	一般世帯向け 要保護世帯向け	0	0	
緊急援護資金 (小郡市社協独自貸付)		12	12	令和3年度貸付総額 342,000円 3年度貸付分償還金額 312,000円
合計	令和3年度	26	26	
	令和2年度	36	36	

(2) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例措置である緊急小口資金等の特例貸付

令和2年3月10日「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」の発表が行われ、生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付を実施することとなり全国の市区町村社会福祉協議会が窓口となり申請受付を行いました。

受付開始は3月19日から7月末まででしたが、8度にわたる期間延長となっており、令和4年6月末までの受付となっておりますが、感染状況によっては更なる期間延長もあり得ます。

また、申請者の増加により令和2年4月30日から「ろうきん」、5月28日から郵便局で緊急小口資金のみの受付が行われ令和2年9月30日終了しました。

その為、ろうきん、郵便局で緊急小口資金を借り受けた件数は把握できず、以下の集計は当会での申請件数となります。

なお、令和4年3月31日現在当会で受け付けた申請件数1,151件。実申請者数613名。総貸付金額361,680,000円になります。

*福岡県全体では約783億円

当会での特例貸付の特徴は、政令市を除き外国籍、ネパール人の留学生の貸付件数が多く、他市に比べ同国のコミュニティーの大きさがうかがえます。

【特例貸付制度】

	緊急小口資金 令和4年8月末まで	総合支援資金		
		初回 令和4年8月 末まで	延長 令和2年7月から 令和3年6月まで	再貸付 令和3年3月から令 和3年12月まで
貸付上限	【単身世帯】 原則 100,000 円以 内。但し、状況によ り上限 200,000 円ま で可	【単身】 上限額 45 万円 / 15 万円の 3 か月 【複数世帯】 上限額 60 万円 / 20 万円の 3 か月 * 初回から再貸付で最大で 9 か月申請可能		
据置	令和4年12月末まで据置 但し令和4年4月以降の申請者は令和5年12月末まで			
償還期間	2年以内	10年以内		
利息	償還期間内は無利息			
償還免除	借受人及び世帯主が償還時において、なお所得の減少続く住民税非課税世			
	令和3年度又は令和4年度 非課税		令和5年度又は令和6年度 非課税	
条件	コロナウイルス感染症によって、収入が減少した方 但し、世帯での貸付			

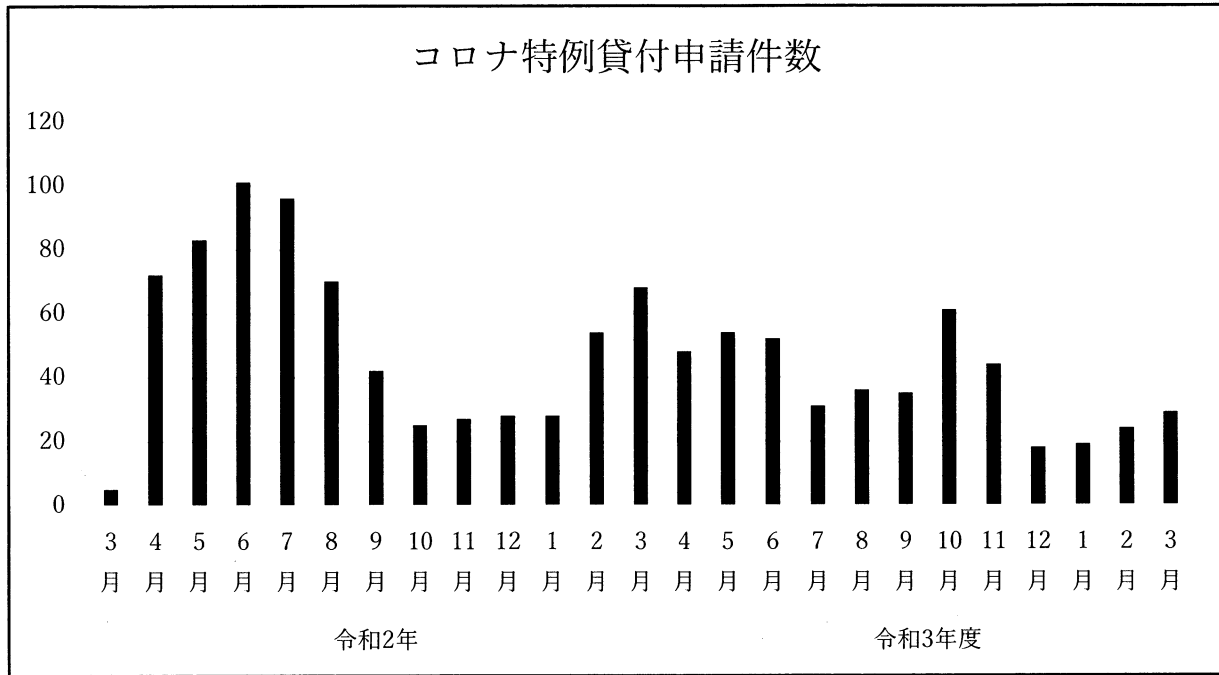
【当会での対応】

職員体制	地域福祉係から1名兼任 令和3年9月から令和4年3月末まで臨時職員を採用
------	---

【月別申請件数】

	令和2年													計
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
相談問合せ	12	140	95	110	150	91	72	46	42	42	39	91	109	1039
緊急小口資金	4	66	62	57	59	33	16	8	14	19	12	23	30	403
総合支援資金	1	6	21	44	30	17	12	10	8	5	12	11	14	191
総合支援資金延長	0	0	0	0	7	20	14	7	5	4	4	8	14	83
総合支援資金再貸付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	12	10	22
申請件数計	5	72	83	101	96	70	42	25	27	28	28	54	68	699

	令和3年度													総 合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
相談問合せ	51	62	63	46	47	47	38	37	21	29	39	39	519	1558
緊急小口資金	19	22	16	8	11	13	31	15	4	10	8	14	171	574
総合支援資金	18	14	14	13	8	14	22	22	10	9	16	15	175	366
総合支援資金延長	7	12	10	/	/	/	/	/	/	/	/	/	29	112
総合支援資金再貸付	4	6	12	10	17	9	8	7	4	/	/	/	77	99
申請件数計	48	54	52	31	36	36	61	44	18	19	24	29	452	1151



【新型コロナウイルス特例貸付における経緯】

令和2年 3月	23日から受付開始
4月	26日住居確保給付金新型コロナウイルス流行拡大にかかる運用の変更 30日「ろうきん」受付開始
5月	28日郵便局受付開始
6月	受付期間延長／令和2年9月30日まで延長 (令和2年6月16日通知)
7月	総合支援資金貸付期間3ヵ月延長・最大6ヵ月間に延長 (令和2年7月2日通知) 9月末までに送金完了を迎える借受人へ通知文書送付翌月から随時送付
9月	受付期間再延長／令和2年12月31日まで (令和2年9月16日通知) ろうきん、郵便局9月30日受付終了
12月	受付期間再々延長／令和3年3月31日まで (令和2年12月9日通知)
令和3年 2月	総合支援資金再貸付／最大9ヵ月間の貸付(令和3年2月2日通知) 2月17日押印廃止の通知
3月	受付期間延長4回目／令和3年6月30日まで (令和3年3月19日通知)
5月	受付期間延長5回目／令和3年8月31日まで (令和3年5月28日通知)
6月	厚労省社会援護局保護課から各都道府県7市町村生活保護担当者宛11日事務連絡「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」について
8月	受付期間延長6回目／令和3年11月30日まで (令和3年8月17日通知)
11月	受付期間延長7回目／令和4年3月31日まで (令和3年19日通知)
12月	総合支援資金貸付延長貸付12月31日まで
令和4年 2月	償還据置期間の延長通知 受付期間延長8回目／令和4年6月30日まで (令和4年2月22日通知)

【集計 1】 延申請件数

	緊急 小口資金	総合支援資金			計	備 考
		初回	延長	再貸付		
2 年度	403	191	83	22	699	緊急小口資金取り消し 2 件 総合支援資金延長不承認 16 件 総合支援資金延長取り下げ 1 件
3 年度	171	175	29	77	452	緊急小口資金取り消し 1 件 総合支援資金取下げ 1 件 総合支援資金延長不承認 10 件 再貸付不承認 15 件 再貸付取下げ 1 件
計	574	366	112	99	1,151	

【集計 2-1】 外国籍 延申請件数

	緊急小口資金	総合支援資金			計
		初回	延長	再貸付	
令和 2 年度 (内外国籍留学生)	109 (83)	30 (12)	2 (0)	0 (0)	141 (95)
令和 3 年度 (内外国籍留学生)	63 (55)	74 (59)	1 (0)	3 (0)	141 (114)
計	172 (138)	104 (71)	3 (0)	3 (0)	282 (209)

【集計 2-2】 国別 実申請者数

外国籍実申請者数	ネパール	フィリピン	スリランカ	ベトナム
204	190	6	1	7

【集計 3】 母子・父子世帯 延申請件数

	緊急小口資金	総合支援資金			計
		初回	延長	再貸付	
2 年度	35	17	7	1	60
3 年度	9	8	4	3	24

【集計 4】 年代別 実申請者数

実申請者数	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
613	2	245	104	105	83	50	23	1

【集計 5】 実申請者が貸付併用した件数

小口のみ	249	限度額 20 万円
小口・総合	160	限度額 80 万円
小口・総合・総合延長	57	限度額 140 万円
小口・総合・総合延長・総合再貸付	45	限度額 200 万円
小口・総合・総合延長	46	限度額 140 万円
総合のみ	49	市外もしくは、ろうきん・郵便局で小口申請
総合・総合延長・総合再貸付	1	
総合・総合延長	1	
総合・再貸付	1	
総合延長・総合再貸付	2	
延長	2	
実申請者数	613	

(3) 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の受託

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、既にコロナ特例総合支援資金の再貸付が終了するなどにより、特例貸付を利用できない世帯に対して、就労による自立を図るため、また、それが困難な場合には円滑に生活保護の受給へつなげるための新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業を受託し受付け窓口を設置しました。

【支給対象者】以下すべてに該当

コロナ特例貸付	緊急小口資金・総合支援資金をすでに借り終えている世帯
収入要件	申請月に世帯全体の収入が一定金額以下の世帯 世帯人員によって異なる
資産要件	申請月に世帯全体の預貯金が一定金額以下の世帯 世帯人員によって異なる
求職活動要件	<ul style="list-style-type: none"> ●月1回以上、自立相談支援機関の面接等の支援を受けること。 ●月2回以上、公共職業安定所又は地方公共団体が設ける公的な無料職業紹介の窓口で職業相談等を受けること。 ●原則週1回以上、求人先へ応募を行う又は求人先の面接を受けること。

【支給額】

単身世帯 月6万円×3ヵ月	二人世帯 月8万円×3ヵ月	三人以上世帯 月10万円×3ヵ月
------------------	------------------	---------------------

【事業の改定】

開始時 通知令和3年6月	受付期間/令和3年7月1日から8月31日まで 支給対象要件/コロナ特例貸付総合支援資金再貸付借受終了者
通知令和3年8月	受付期間/令和3年11月30日まで延長
通知令和3年11月	受付期間/令和4年3月31日まで延長 支給対象要件/コロナ特例貸付総合支援資金借受終了者 再支給/3ヵ月間の再支給申請 求職活動要件緩和/ハローワーク及び地方公共団体が設ける公的な無料職業紹介の窓口
通知令和4年2月	受付期間/令和4年6月30日まで延長
通知令和4年4月	受付期間/令和4年8月31日まで延長 求職活動要件緩和/

【実績】

初回申請	26件
再支給申請	7件

4. 福祉バス（さちかぜ号）運行事業

新型コロナウイルス感染予防対策として昨年度に引き続き9月末まで乗車定員数を変更し（28名を半数の14名）移動途中の換気などを行いながら、社協や支援する団体が円滑な活動ができるように、ふれあいネットワーク事業、市内の福祉団体やボランティア団体等の研修、ボランティア活動、レクリエーション事業等、地域福祉の推進を図るためマイクロバスの運行を行いました。

なお、緊急事態宣言が発令された5月12日から6月20日まで、及び8月20日から9月30日までの期間中は運行を中止しました。

【福祉バス利用状況】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
令和3年度 運行回数	1	0	0	1	1	0	6	11	2	4	1	5	32
令和3年度 利用人員	14	0	0	13	14	0	76	153	32	85	20	78	485
令和2年度 運行回数	0	0	0	0	2	0	3	10	1	2	1	2	21
令和2年度 利用人員	0	0	0	0	25	0	36	188	10	21	11	27	318

【利用団体】

小郡市社会福祉協議会・各区ふれあいネットワーク推進委員会・各福祉団体・ボランティア団体・各老人クラブ・保育所

5. 共同募金会（小郡市支会）

（1）赤い羽根共同募金運動

共同募金会小郡市支会として、福祉事業の振興を図るため、10月から12月まで赤い羽根共同募金運動を行い、行政区、関係団体・個人等の協力により、赤い羽根共同募金額は、9,175,578円の実績を上げることができました。

【各種募金実績】

（単位：円）

募金種別	令和3年度実績
戸別募金	6,161,650
街頭募金	29,786
個人・法人募金	1,482,252
設置募金箱募金	140,731
学校募金箱募金	201,333
資材（バッジ・ボールペン・クオカード等）募金	1,093,600
あすてらすフェスタ募金（開催中止）	0
自動販売機収入募金	66,210
預金利子	16
計	9,175,578



新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら、職員のみで街頭募金活動を実施しました。



「学校で募金を呼びかけ集めました。小郡のまちに役に立ててください。」と学校募金活動の報告を受け、募金箱を預かりました。

(2) 共同募金小郡市支会理事会・監査

令和3年6月24日	・令和2年度共同募金小郡市支会監査（会計監査）
令和3年8月23日 決議の省略 （書面による議案 同意を得た）	・会長の承認について ・令和2年度共同募金事業報告について ・令和2年度共同募金収支決算について
令和4年2月28日	・副会長の互選について ・令和3年度共同募金事業報告及び 令和4年度事業共同募金配分（案）について ・令和4年度共同募金事業計画（案）について ・令和4年度共同募金収支予算（案）について

・共同募金運動のチラシ23,000部を、10月1日に市内各世帯等に配布

(3) 災害募金の取り扱い

災害により被災された方々の生活支援のため窓口に募金箱を設置し義援金募集を行いました。

令和3年島根県松江市大規模火災義援金	令和3年7月大雨災害静岡県義援金
令和3年7月島根県大雨災害義援金	令和3年7月広島県大雨災害義援金
令和3年8月福岡県豪雨災害義援金	令和3年8月大雨災害青森県義援金
令和3年8月佐賀県豪雨災害義援金	長崎県令和3年8月大雨災害義援金
令和3年8月島根県大雨災害義援金	令和3年8月広島県大雨災害義援金
令和3年8月長野県大雨災害義援金	

6. 在宅福祉活動

(1) 車いす対応車輛貸出事業

障がい者や歩行困難な高齢者に対して社会参加を支援するため、車いす対応車輛を貸出すことにより、障がい者等の福祉の向上と、在宅福祉の充実を図ることを目的に実施しました。

【利用実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
令和2年度件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	8	13
令和3年度件数	7	6	3	6	2	5	3	3	1	2	0	0	38

(2) 障がい児長期休暇スクールの実施

市内在住の障がい児（小中高生）が長期休暇中（春休み）にスクールに参加して、ボランティアと楽しく過ごし、障がい児同士の交流と同時にボランティアの育成を目的として市福祉課、NPO法人サポネットおごおり、こぐま福祉会との共催により実施しました。

① サマースクール（令和3年8月16・17・19日）

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、開催を中止しました。

② ウィンタースクール（令和4年1月6日）

参加者（障がい児）	3名
ボランティアスタッフ	17名
時 間	9:00～15:00
会 場	「あすてらす」（多目的ホール）と基山町民会館
内 容	・ 凧づくり・凧あげ・レクリエーションなど

③ スプリングスクール（令和4年3月25日）

参加者（障がい児）	7名
ボランティアスタッフ	23名
時 間	9:00～16:00
会 場	「あすてらす」（多目的ホール）と八女市上陽町尾久保研修所
内 容	・ 皆でバスや車に乗ってドライブ八女市上陽町へ ・ 尾久保の大自然を散策・体育館でボール遊びなど



ウィンタースクール



スプリングスクール

(3) 障がい児タイムケア事業の実施

障がい児の放課後や長期休暇中の居場所づくりとボランティアとの交流を目的とした障がい児の一時預かり事業を週1回(利用者約7名)実施しました。

回	月	日	利用者数	スタッフ数
1	5	13	0	0
2		20	0	0
3		27	0	0
4	6	3	0	0
5		10	0	0
6		17	0	0
7	7	24	6	9
8		1	3	8
9		8	3	6
10	8	15	7	10
11		29	7	9
12		5	5	10
13	9	12	0	0
14		26	0	0
15		2	0	0
16	10	9	0	0
17		16	0	0
18		30	0	0
19	11	7	4	10
20		14	6	8
21		21	6	8
22		28	5	9

回	月	日	利用者数	スタッフ数
23	11	4	4	8
24		11	4	8
25		18	6	10
26	12	25	6	9
27		2	5	10
28		9	6	9
29	1	16	5	8
30		23	6	10
31		13	4	10
32	2	20	3	9
33		27	6	6
34		3	4	8
35	3	10	4	5
36		17	6	11
37		24	6	7
38	4	3	7	9
39		10	4	8
40		17	5	10
41	5	24	4	9
42		31	5	8
全42回			152名	259名

緊急事態宣言発令後、あすてらすの使用が出来なかった為、5月・9月は中止しました。

【会場】 「あすてらす」(和室)、「大原きぼうの森館」(和室、大ホール)

【時間・内容】

☆学業中

- ・15時から18時まで
- ・利用者1名に対しスタッフ1～2名が対応。
室内では折り紙、お絵かき等、室外では近くの公園等で過ごす。

☆長期休暇中

- ・10時から16時まで
- ・バスハイク(久留米市三潞総合福祉センターゆうゆう、福岡県立英彦山青年の家、FIND&ACT、福岡県立青少年科学館)



久留米市三潞総合保健
福祉センターゆうゆう



福岡県立英彦山青年の家

7. ボランティア情報センター事業

ボランティア情報センターでは、ボランティアに関する情報の収集・提供、ボランティアの養成、活動支援、広報啓発活動、相談受付・コーディネート、活動室や備品の貸出等を行いました。

(1) ボランティア情報センター活動・利用状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
登録団体数		21	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	
登録	男性(人)	0	0	0	0	4	0	1	0	1	0	0	0	6	
	女性(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	合計(人)	0	0	0	0	4	0	1	0	1	0	1	0	7	
ボランティア情報センター	利用回数 (回)	午前	10	3	0	4	0	0	7	2	4	2	2	4	38
		午後	4	2	1	5	1	0	6	4	4	3	4	4	38
		夜間	7	1	3	5	1	0	7	8	6	3	3	6	50
		終日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
		合計	21	6	4	14	2	0	20	14	14	8	9	16	128
	利用人員 (人)	午前	53	19	0	26	0	0	42	17	23	13	4	29	226
		午後	20	12	4	12	3	0	21	17	12	11	18	16	146
		夜間	25	4	18	23	10	0	41	48	29	17	26	45	286
		終日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
		合計	98	35	22	61	13	0	104	82	64	41	48	99	667
活動室利用	利用回数 (回)	午前	14	3	2	8	2	0	7	9	8	10	8	8	79
		午後	4	0	1	5	0	0	2	7	4	3	4	6	36
		夜間	7	1	1	4	0	0	4	7	3	4	2	6	39
		終日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		合計	25	4	4	19	2	0	13	23	15	17	14	20	156
	利用人員 (人)	午前	119	24	15	63	9	0	70	73	67	82	64	62	648
		午後	27	0	6	46	0	0	10	62	28	13	22	38	252
		夜間	69	5	8	36	0	0	29	71	24	36	21	60	359
		終日	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	23
		合計	215	29	29	168	9	0	109	206	119	131	107	160	1,282
保険	件数(件)	14	2	2	1	10	1	4	5	3	3	3	18	66	
	人数(人)	140	16	9	40	11	1	410	124	112	35	30	404	1,332	
相談件数(件)		4	5	8	4	11	2	10	6	4	5	5	3	67	

(2) ボランティア講座の開催

① 福祉レクリエーションボランティア講座の開催 (全6回)

日時：令和3年10月4日(月)～令和3年11月22日(月)まで
 内容：地域のふれあいネットワークのサロン活動等で活躍していただくボランティアの方を養成する講座を行いました。7回開催予定でしたが、コロナの影響により6回の講座になりました。

講師：福岡県レクリエーション協会専務理事 佐藤 靖典 氏他
 参加者延べ 140名

開催場所：小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」内多目的ホール

	講座日程	内 容	参加者数
1回	10/4 (月)	開講式	24名
		レク財の宝庫：テキスト「楽しいを創る」を発掘① あなたがよく使うレク財は？ 喜ばれるレク財は？ アンケート調査でリストアップ 講師：佐藤靖典 アシスタント：柳本早百合	
2回	10/12 (火)	レク財の宝庫：テキスト「楽しいをつくる」を発掘② 「レク財をグループでやってみよう」 講師：佐藤靖典 アシスタント：柳本早百合	24名
3回	10/18 (月)	健康体操 DVD を使え、指導できるようになろう！ レク財の宝庫：テキスト「楽しいをつくる」を発掘③ 講師：佐藤靖典 アシスタント：柳本早百合	23名
4回	10/26 (火)	レクリエーションの基礎「アイスブレイキング」の楽しみ① With コロナ禍でも参加者を笑顔・元気にするアイスブレイキング ※福祉レク活動についていっしょに考えましょう (アンケート) 講師：佐藤靖典 原田弘美 柳本早百合	24名
5回	11/16 (火)	「幸せを実現できるまち おごおり」をめざして レクリエーションの笑顔・元気で小郡市を笑顔・元気に！ 皆さんに期待されていることは？ 講師：佐藤靖典 アシスタント：柳本早百合	22名
6回	11/22 (月)	レクリエーションの基礎「アイスブレイキング」の楽しみ② テキストのレク財をコロナ禍でも出来るように工夫して 講師：佐藤靖典 原田弘美 柳本小百合	23名
		閉講式	
7回		7回目の「まとめ レクリエーション」は6回目の内容に統合	中止
	計	申込者 32名中 参加者 30名	延べ 140名

※今年度も、コロナの影響で、講座の回数が変更になりました。7回を計画しておりましたが、9月の初めが緊急事態宣言で、行うことができませんでした。申込数32名で、2名の方が、体調を崩されて辞退になり、30名の受講になりました。今回は、おごおりレク健康隊会員のほか民生委員さんや、地域でサロン活動されている方も参加され、レク認定講座申請者3名、おごおりレク隊会員に2名が入会しました。



② 災害ボランティア講座

災害ボランティアに関する心得等の基礎知識を習得し、防災に関する興味関心を持つことを目的に開催しました。

日時：令和4年3月13日（日）

講座の部 10：00～12：00 『災害ボランティア講座』

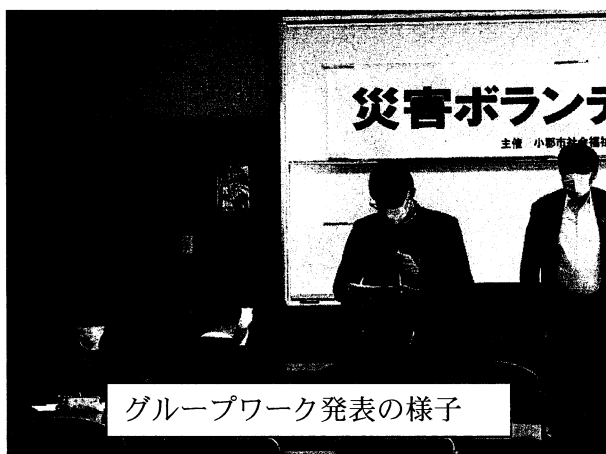
試食の部 12：00～13：00 非常食の試食

体験の部 13：00～17：00 福岡市民防災センター

講師：一般社団法人 九州防災パートナーズ 藤澤 健児 氏

参加人数：三井高校 13名 小郡高校 11名

市内在住高校生 1名 一般 2名 計 27名



グループワーク発表の様子



非常食の試食



福岡市民防災センター玄関前

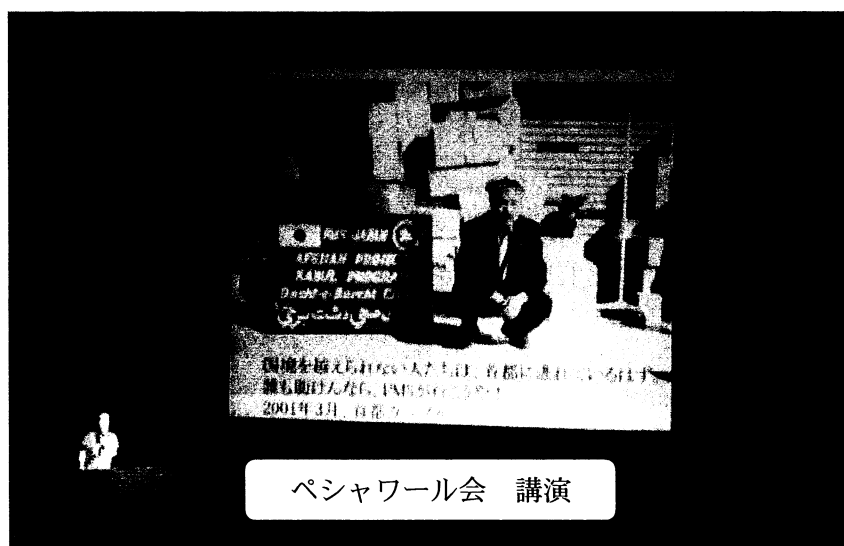


福岡市民防災センターVR体験

③ ボランティア養成講座（喜楽塾）

多様性社会の中で、いくつになっても豊かで元気に暮らせるような地域づくりをめざし、その地域づくりの一つの方法としてボランティア活動に焦点を当てる。それにより、自分の生活の中にボランティア活動を取り入れようという気持ちを持ってもらうとともに地域のボランティアの裾野を広げるということを目的に、今年度はボランティア連絡協議会と共催で開催しました。

開催日	開催場所	テーマ及び講師名	参加人員
10月9日	小郡市文化会館	喜楽塾開講式	204
		ペシャワール会講演 「中村哲氏の遺志をつなぐ ～アフガンを救う命の水～」 PMS支援室室長・PMS総院長補佐 藤田千代子氏	
10月23日	あすてらす	映画上映「徘徊ママリン 87歳の夏」	54
11月6日	あすてらす	ボラ連団体紹介①	9
11月20日	あすてらす	ボラ連団体紹介②	7
11/7～2/4	各活動現地	各ボランティア団体活動訪問	
12月4日	あすてらす	ボランティア団体紹介①	21
1月23日	九州歴史資料館 小郡市埋蔵文化 財調査センター	ボランティア団体紹介②	17
2月5日	あすてらす	ボランティア団体紹介③	中止
2月19日	あすてらす	小郡市地域福祉計画に関する講演会 小郡市福祉課地域福祉係長 天野正治氏	中止
3月5日	あすてらす	映画上映「ちづる」・閉講式	中止



(3) あすてらすフェスタにおける広報啓発活動

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、あすてらすフェスタは中止されました。代わりにあすてらすフェスタ参加団体の広報パンフレットに市社協の紹介を掲載させていただきました。

(4) ボランティア連絡協議会の活動

小郡市ボランティア連絡協議会の事務局を担当し、活動支援を行いました。

4月	15日	第1回役員会・会計監査
7月	2日	第1回理事会
	5日	ぼらネット51号発行
8月	2日	第2回理事会
9月	13日	第3回理事会
10月	8日	第1回喜楽塾準備
	9日	第1回喜楽塾（ペシャワール会講演）受講生204名参加
	18日	第4回理事会
	23日	第2回喜楽塾（「徘徊」上映会）受講生54名参加
11月	6日	第3回喜楽塾（ボラ連団体紹介①）受講生9名参加
	20日	第4回喜楽塾（ボラ連団体紹介②）受講生7名参加
12月		第5回喜楽塾（小郡市内ボラ団体紹介）受講生21名参加
	4日	第6回喜楽塾（11月7日～2月4日ボラ連団体活動見学）
	16日	第5回理事会
		ぼらネット52号発行
1月	23日	第7回喜楽塾（九歴・埋文ボランティア見学）受講生17名参加
3月	10日	第6回理事会



8. 福祉・ボランティア団体活動支援

地域の様々な課題に柔軟に対応するため共同募金配分金を財源として公募による配分を行いました。

No.	団体名	事業の内容
1	NPO 法人しょうがい者と共に生きる みんなのかえるランド	障がい者への理解を深めるための「ニュース と機関誌」の発行
2	おごおりレク健康隊	コロナ禍に則した高齢者の健康づくりの推進 を目的に行政区サロン、老人会サロン等での レクリエーション指導の為の研修
3	おごおりこどもひろば	週末安心して過ごせる、小中学生のこどもの 居場所づくり
4	小郡市ふれあいネットワーク推進委員会	高齢者脳カトレーニング冊子作成配布
5	ふくおかライフレスキュー事業 小郡地区連絡会	小郡地区連絡会会員及び支援団体による清掃 支援活動
6	小郡市老人クラブ連合会	高齢者支援、見守り、触れ合い活動等 (健康体操、フレイル講座等)
		健康保持、スポーツ、健康講座活動等 (グランドゴルフ大会、ダーツ大会)
7	小郡市身体障害者福祉協会	会員相互相談・意見交換会、日帰りバスツア ー、視覚部会活動支援、聴覚部活動支援
8	小郡市母子寡婦福祉会	親子レクリエーション 中止
		一日父親行事 中止
9	小郡警察署少年補導員連絡会	青少年非行防止・少年補導活動として、月2 度の市内パトロールと年2回の深夜パトロー ル
10	久留米保護区小郡保護司会	月2回の青少年非行防止ため夜間街頭補導パ トロール
11	小郡市保育協会	保育所が果たさなければならない子育て支援 をより充実させるための研修
		保育フェスタ in おごおり 中止
12	小郡市民生委員児童委員協議会	地域福祉広報啓発とし、パンフレット、ポケ ットティッシュ、民生委員児童委員ジャンバ ー、そして広報誌を作成
		文化会館を貸し切って活動報告、川崎市「あ なたのまちの民生委員」DVD 上映
13	小郡市青少年育成市民会議	子ども安全見守り隊ステッカー作成配布
14	児童劇団つばさ	児童劇団つばさ第36回定期公演「ANGEL WINGS!」開催
15	みくにっこ劇団レインボーキッズ	コロナ対策抗原抗体キット、体育館使用料
16	小郡点訳蛍の会	市内小学校での点字学習指導、盲人会への情 報提供、情報誌点訳発送
17	小郡手話の会	手話の習得(研修・活動)と 広報紙発行、活動者へのボランティア保険加 入
18	小郡テープの会	市報の朗読録音、録音CD発送、NHK日本語朗 読セミナー参加
19	小郡要約筆記の会「たなばた」	聴覚障がい者支援サポーター講座・啓発冊子 「聞こえにくい人が困らないために」作成

No.	団体名	事業の内容
20	日本車椅子レクダンス協会小郡支部	身体不自由でも、高齢でもレクリエーションが楽しめるように車いすレクダンスを普及啓発活動
21	セラピューティック・ケア「えがお」	「手のぬくもりは心のぬくもり」をモットーに手のひらを使い、服の上から首や肩などを撫でることでのケアするボランティア活動のための研修
22	小郡市ボランティア連絡協議会	小郡市ボランティア連絡協議会の広報紙発行 じぶんはっけん喜楽塾 (ボランティア養成講座) 新規ボランティアをボラ連に加盟する団体への加入を目的に全10回(3回中止)講演会や映画上映で啓発
23	福祉教育協力校 市内小中学校11校	福祉体験授業や共同募金活動、高齢者・障がい者との交流やLGBTQをはじめとする多様性の授業

9. 福祉教育事業

(1) 市内小学校・中学校に対して福祉教育の援助

①福祉教育教材「ともに生きる」を配布（市内・小学校8校 323冊）

学校や家庭での福祉教育教材として活用するため、希望があった市内の7小学校の4年生と特別支援学校の作業福祉受講生（高等部2年）に無償配布しました。

②小郡市社会福祉協議会福祉教育協力校指定

学校で取組む福祉教育活動、ボランティア活動を推進するため、市内の小・中学校および特別支援学校に助成募集を行い、申請があった学校に助成を行いました。

学校名	福祉活動協力校の主な活動内容
大原中学校	・新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、活動できず辞退
小郡中学校	・小郡特別支援学校と交流 (メダルや歌・ダンスをビデオ撮影したものを届ける)
立石中学校	・新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、活動できず辞退
御原小学校	・アイマスクと白杖体験学習 ・手話体験・車椅子体験 ・視覚障がい者・盲導犬との交流学習 ・小郡特別支援学校と手紙を通して交流 ・赤い羽根共同募金活動
大原小学校	・「伝え合おう、わたしたちの心」障がいがある方や認知症への見方・考え方についての学習（4年生） ・「大原小アグリカルチャー大作戦」米作り体験（5年生） ・野菜の栽培、収穫をとおして地域の方々と交流
東野小学校	・赤い羽根共同募金活動 ・社会福祉理解促進活動（点字体験）、（手話体験） ・視覚障がい者・盲導犬との交流 ・人権の花ひまわりの栽培（5月）。花づくりを通して人権について考える
三国小学校	・福祉体験学習「人にやさしい町づくり」において、「蛍の会」による点字体験学習を行う。 ・車椅子を利用してある方との交流 ・視覚障がい者・盲導犬との交流 ・福祉教育の掲示物の作成・掲示
立石小学校	・社会福祉理解促進活動 点字体験 ・盲導犬ユーザーの方との交流（4年生） ・小郡特別支援学校との交流（2年生） ・高齢者との交流活動 ひょうたん作り（4年生） ・地域の高齢者に郷土料理を学ぶ（3、4、5、6年生） ・地域の高齢者や防犯ボランティアの方への感謝を伝えるポスター作り（全学年） ・グループホーム「風のふく丘」、「青壽苑」との交流（3年生） ・認知症サポーター養成講座（3年生） ・意識啓発活動 赤い羽根共同募金活動（児童会）
小郡小学校	・福祉グループ「どろっぷす」と一緒にお箸作り

学校名	福祉活動協力校の主な活動内容
味坂小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症サポーター養成講座 ・ 点字体験 ・ 視覚障がい者、盲導犬との交流 ・ 障がい者福祉施設（風の丘）の施設長からの講話 「障がいに対する偏見を直す」 ・ 地域行事参加（まつり味坂・ポピーの種まき・21の会との交流） ・ 餅つき大会（地域の人・保護者との交流） ・ 赤い羽根共同募金活動
のぞみが丘小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な学習「よりよい暮らしをめざして」手話体験、視覚障がい者との交流、点字体験、車いす・車いすバスケット体験 ・ 赤い羽根共同募金活動

（2）福祉用具教材及び車いすの貸出し

病気やケガにより車椅子が必要な方に貸出しを行っています。昨年に引き続き、あすてらすワクチン接種会場等でも利用いただいています。

数年前より、保育園等で園児の福祉体験に取組まれ利用希望があります。

また、小学生のケガ等でも利用希望があるため、ジュニア用車椅子が必要となっています。

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
貸 出 物	車いす	19	8	7	5	5	6	2	19	8	5	5	6	95
	アイマスク	0	0	0	0	0	0	36	20	0	0	0	0	56
	白杖	0	0	0	0	0	0	36	21	0	0	0	0	57
	点字板	0	0	0	0	0	0	69	83	0	0	0	0	152
	思いやり君	0	0	0	0	0	3	0	6	0	0	0	0	9
	ダーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	2	3	0	0	1	0	0	0	0	6



車椅子の体験学習の様子
のぞみが丘小学校4年生



思いやり君
高齢者疑似体験セット

(3) 社会福祉協議会実習受入

社会福祉分野の実践者、専門職の育成を目的とした社会福祉援助技術実習について受け入れを行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。

10. 地域福祉活動

(1) ふれあいネットワーク活動の推進

地域に住む住民一人ひとりが、それぞれの立場から無理のない形で孤立しがちな高齢者や支援が必要な対象者への声かけ訪問、見守り、その他簡単な生活の手助けをする中から、支援が必要な高齢者等の悩みや問題を早期に気づき、区長・民生委員児童委員や関係機関と連携し、その問題を解決する小地域福祉活動「ふれあいネットワーク」活動を推進しました。

① 年間活動状況

月	事業	内容
4月	5日 第1回のぞみが丘小校区健康福祉部会	・部会の構成、部会長選任 ・令和3年度事業計画について ・校区推進事業報告 参加者 8名
	10日 第1回大原校区健康福祉部会	・役員選出 参加者 25名
	16日～12/3 三国小校区健康福祉部会	・三国安心キット配布説明会 参加者延べ 135名
5月	6日 市ふれあいネットワーク監査 あすてらす 相談室	・会計監査 監事 2名
	10日 市推進委員会 あすてらす視聴覚室	・推進委員会委員の交代について ・令和3年度事業報告・決算報告の承認について ・令和4年度事業計画(案)・予算(案)について
	10日 第1回御原校区健康福祉部会	・令和3年度校区事業計画・事業報告 ・各区からの敬老会開催について 参加者 15名
	10日 令和3年度各校区 助成金申請書依頼	・各校区代表宛依頼
	12日 令和3年度各行政区助成金 申請書依頼	・各行政区代表宛依頼
	12日 第1回東野校区ふれあい ネットワーク専門委員会	・新型コロナ感染防止のため会議資料配布 参加者 9名
6月	23日 第2回のぞみが丘小校区 健康福祉部会	・令和3年度事業について 自分サポートプロジェクト ・健康福祉講座、経費運用について 参加者 11名
	24日 大原校区健康福祉部会 役員会	・健康福祉部会活動について 参加者 9名

月	事業	内容
7月	3日 大原校区健康福祉部会	・認知症サポーター養成講座 参加者 21名
	13日～3/8(7回) 三國小校区健康福祉部会	・三国の茶の間 参加者延べ 89名
	16日 第1回味坂校区健康福祉部会	・令和2年度事業報告・決算報告 令和3年度事業計画・各区の現状報告 参加者 17名
	26日～3/29 三國小校区健康福祉部会	・事業検討会 参加者延べ 62名
	30日 第3回のぞみが丘小校区 健康福祉部会	・自分サポートプロジェクト関連 健康福祉講座 参加者 9名
8月	3日 第2回御原校区健康福祉部会	・各区からの福祉活動意見交換 参加者 19名
9月	6日 味坂校区健康福祉部会役員会	・敬老会冊子内容の検討 参加者 6名
	12日 第3回御原校区健康福祉部会 合同敬老会中止に伴い協力要請	・記念品配布 参加者 14名
10月	4日 福祉レクリエーション ボランティア講座 (10月4日～11月22日まで6回)	・サロンで指導できるように指導者講習会 参加者延べ 140名
	4日 第4回のぞみが丘小校区 健康福祉部会	・第1回目、第2回目自分サポート プロジェクトについて 健康福祉講座について 参加者 9名
	5日 第2回味坂校区健康福祉部会	・コロナ禍に事業のこれからの検討 参加者 18名
	9日 第1回立石校区健康福祉部会	・立石SOSネットワーク検索、声かけ模擬 ミニ訓練 参加者 25名
	9日 のぞみが丘小校区健康福祉部会	・第1回自分サポートプロジェクト開催 のぞみ小体育館 参加者 25名
	12日 第2回東野校区 ふれあいネットワーク専門委員会	・校区の「ふれあいネットワーク活動」の 現状について 参加者 6名
	21日 ※小郡校区区長会 小郡校区コミセンにて	・ネットワークの説明 参加者 13名
	27日 ※立石校区区長会 立石校区コミセンにて	・ネットワークの説明
11月	1日 第5回のぞみが丘小校区 健康福祉部会	・第2回自分サポートプロジェクトについて 健康福祉講座について 参加者 9名
	4日 ※味坂校区区長会 味坂校区コミセンにて	・ネットワークの説明 参加者 7名
	5日 第2回立石校区健康福祉部会 役員会	・SOSネットワーク検索について打ち合わせ 参加者 7名
	7日 のぞみが丘小校区健康福祉部会	・第2回自分サポートプロジェクト のぞみ小体育館 参加者 19名
	9日～3/8 三國小校区健康福祉部会	・健康づくりサロン 参加者延べ 25名

月	事業	内容
11月	10日 三国小校区健康福祉部会	・三国カフェボランティア会議 参加者 13名
	12日 ※三国校区区長会 三国校区コミセンにて	・ネットワークの説明 参加者 13名
	13日 第3回立石校区健康福祉部会	・立石 SOS ネットワーク検索、声かけ模擬 本訓練（吹上・佐野古・立石区） 参加者 68名
	13日 大原校区健康福祉部会 SOS ネットワークグループ研修	・SOS ふれあいネットワーク検索・声かけ模擬 訓練事前研修 参加者 21名
	15日 立石校区健康福祉部会視察研修	・九州北部豪雨被災地視察（朝倉市・東峰村） 参加者 19名
	17日 大原校区健康福祉部会 役員会	・SOS ネットワーク検索反省 参加者 9名
	19日 ※東野校区区長会 東野校区コミセンにて	・ネットワークの説明 参加者 5名
	24日 ※ 第4回御原校区健康福祉部会 御原校区コミセンにて	・ネットワークの説明 ・第7回御原校区歩け歩け大会開催について ・敬老会式典の反省会 参加者 7名
	26日 ※大原校区区長会 大原校区コミセンにて	・ネットワークの説明 参加者 5名
	26日 味坂校区高齢者健康教室	・健康講話 参加者 30名
12月	12月1日～1月31日 御原校区健康福祉部会	・歩け歩け大会開催 参加者 30名
	4日 あじさかフェスタ	・チラシ配布 参加者 10名
	4日 大原校区健康福祉部会 健康サロングループ研修	・おごおりレク健康隊による健康サロン 参加者 31名
	12日 三国小校区健康福祉部会	・講演会「コロナ禍の健康づくり」 講師 久留米大学学長 内村直尚先生 参加者 65名
	20日 第6回のぞみが丘小校区 健康福祉部会	・自分サポートプロジェクトについて ・健康福祉講座について ・令和4年度事業計画・予算案について 参加者 8名
	24日 第4回立石校区健康福祉部会	・くろつちカフェ開催 参加者 220名
	24日 東野校区ふれあいネットワーク 専門委員会研修	・「立石校区くろつちカフェ」視察研修 参加者 13名
1月	11日 三国小校区健康福祉部会	・三国カフェ ふれあい館三国にて 参加者 26名
2月	2日 のぞみが丘小校区健康福祉部会	・健康講話打ち合わせ 参加者 8名
	8日 令和3年度各行政区 助成金実績報告書依頼	・各区、民生委員児童委員宛依頼
3月	1日 令和3年度各校区 助成金実績報告書依頼	・各校区代表宛依頼

月	事業	内容
3月	6日 第5回立石校区健康福祉部会	・令和3年度事業報告 ・令和4年度事業計画(案)について 参加者 23名
	7日 第7回のぞみが丘小校区健康福祉部会	・令和4年度健康福祉部会の組織について ・レクリエーション機材の購入について 参加者 9名
	9日 第3回東野校区ふれあいネットワーク専門委員会	・生活支援コーディネーターについて 社会福祉協議会 牛島より 参加者 8名
	17日 第3回味坂校区健康福祉部会	・令和3年度事業報告(各行政区より) ・令和4年度の事業計画・予算検討 参加者 18名
	22日 第2回大原校区健康福祉部会	・令和3年度活動報告 ・来年度に向けての意見交換会 参加者 25名
	29日 三国小校区健康福祉部会 役員会	・4年度事業計画・予算案について 参加者 7名

② 新任区長研修会・全体研修会

コロナの影響により新任区長研修会・全体研修会中止。

各校区区長会、健康福祉部会に出向きふれあいネットワークについて、社協の今後の方針等を説明に回りました。(活動状況の中の※印)

③ 各区ふれあいネットワーク推進

新型コロナウイルスの影響により、各区のサロン活動・見守り活動が困難をきたしたため、脳トレ宝満ノートを作成し、訪問時に配布していただくよう作成しました。

新たに、「おいたちの記」と題し、自分の想いの記録を残していただくようにノートを作成しました。

④ レクリエーション講座

福祉レクリエーションボランティア講座の開催

日時：令和3年10月4日(月)～令和3年11月22日(月)まで

内容：地域のふれあいネットワークのサロン活動等で活躍していただくボランティアの方を養成する講座を福岡県レクリエーション協会専務理事佐藤 靖典 氏、他を講師に招きました。7回の予定が、コロナの影響により6回の講座になりました。

参加者延べ 140名

⑤ 救急医療情報キット

ひとり暮らしで、急病で倒れてしまった場合、緊急通報先等の情報を救急隊員に確実に発することができるように「救急医療情報キット」を追加配布しました。

また、台帳内容変更、キット削除者の更新作業を随時行いました。

救急情報キットの配布状況

累計令和4年3月31日現在

校 区	件 数	校 区	件 数	校 区	件 数
小郡校区	111	立石校区	54	三國小校区	215
大原校区	127	御原校区	20	のぞみが丘小校区	6
東野校区	30	味坂校区	43	合 計	606

⑥ ふれあいネットワーク校区推進費

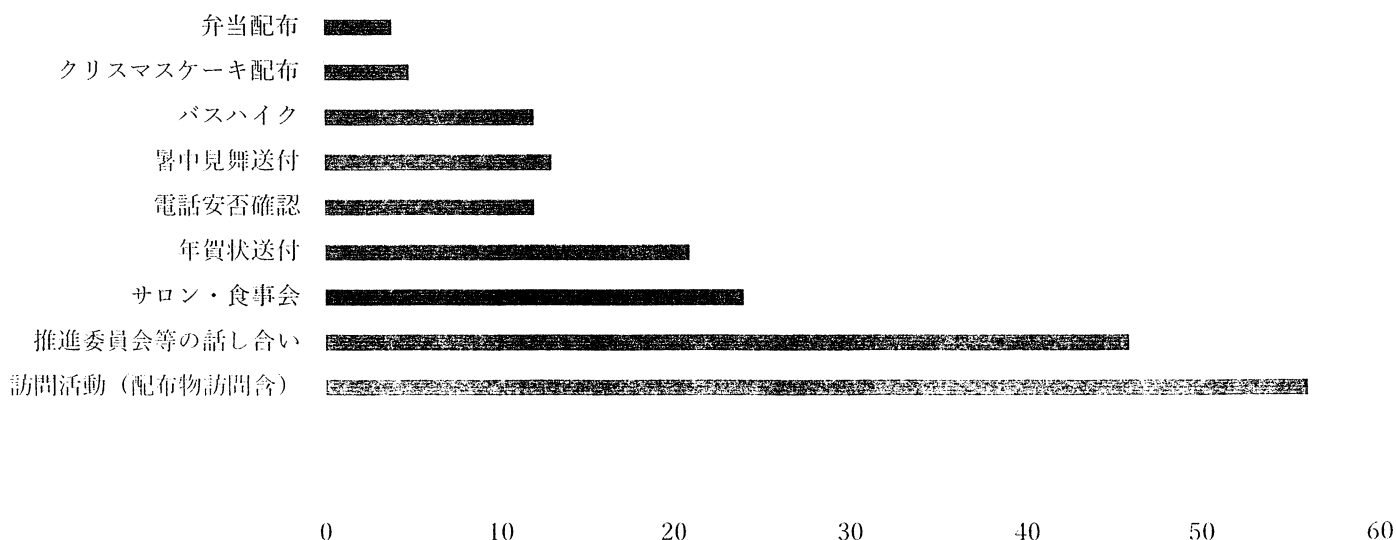
各校区のふれあいネットワーク活動を推進する事業に対し、活動支援を行いました。

⑦ 各区ふれあいネットワークの推進

各区で「新しい生活様式」に対応した活動を推進していただきました。人との接触を極力避けなければならない中、サロン等の集まりが令和3年度も減少しており、感染拡大防止に気をつけた訪問活動を推進して頂きました。配布物もコロナ禍に合ったマスクや消毒液など今必要なものなどの生活必需品と共に配布が増えています。

ふれあいネットワーク活動 各区の取組

各行政区におけるふれあいネットワーク活動内容



⑧ ふれあいネットワーク活動助成事業

各行政区において、支援が必要な高齢者などの悩みや問題に早期に気づく声かけや見守り活動に係る経費や、身近な公民館等を利用し外出のきっかけや地域の交流を目的としたサロンの様な開催を目指す各区での事業に対し、助成金を交付し活動の推進を図りました。コロナの影響により活動ができなかった行政区（1区）より、助成金の返還が生じました。

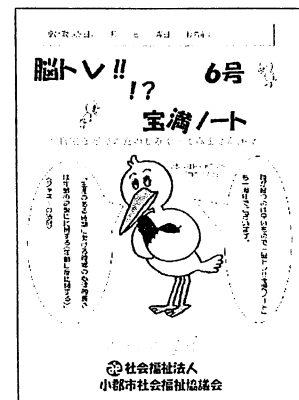
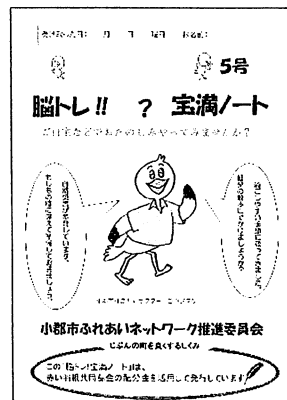
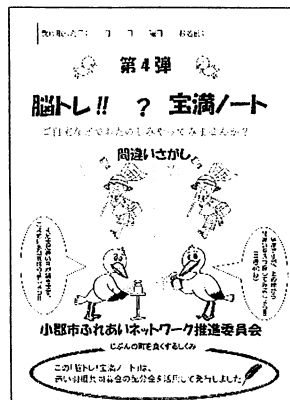
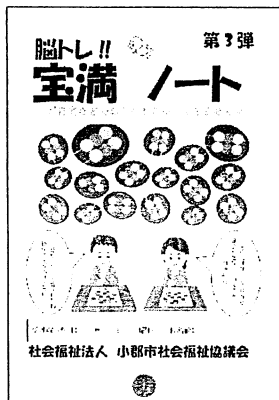
令和3年度	【申請 62 行政区中 58 行政区 決定額 2,650,000 円】
令和2年度	【申請 62 行政区中 59 行政区 決定額 2,660,000 円】
令和元年度	【申請 62 行政区中 60 行政区 決定額 2,720,000 円】

⑨脳トレ！宝満ノート配布

福祉なんでも相談を開設したことの周知と、コロナ禍で自宅での自粛生活中に脳トレをしてリフレッシュして頂くために「脳トレ！宝満ノート」作成しました。見守り活動等に活用して頂けるよう区長や民生委員児童委員等協力のもと配布しました。

●配布実績

校 区	脳トレ	第3弾 (冊)	第4弾 (冊)	5号 (冊)	6号 (冊)
小 郡		260	229	272	48
大 原		60	210	160	0
東 野		179	230	165	223
三国小		480	285	345	150
のぞみが丘小		65	250	160	110
立 石		364	193	200	183
御 原		20	85	62	30
味 坂		110	135	154	100
校区コミュニティセンター等		406	673	609	447
合 計		1,944	2,290	2,127	1,291



(2) 広報紙「社協だより」の発行

「おごおり社会福祉協議会だより」は4回発行し、地域福祉の推進を目的に市内各世帯や公共施設等に配布しました。

また、有料広告欄の募集活動を行い、広告PR力で幅広く手に取ってもらう効果と広告収入による経費負担軽減を図っていますが、コロナ禍で経済不安定の影響もあり掲載事業所への依頼活動が課題です。

発行状況			
	<p>令和3年6月15日 22,800部発行</p> <p>「防災」をテーマに家庭でできる食のローリングストックに取り組む三井高校の活動を紹介。三井高校発信による防災食レシピ連載スタート。</p>		<p>令和3年9月1日 22,900部発行</p> <p>赤い羽根共同募金感染予防を講じながら地域福祉活動を再開。昨年度の活動で集まった共同募金の配分状況を紹介。</p>
	<p>令和3年12月1日 22,900部発行</p> <p>喜楽塾主催の講演会を特集。ペシャワール会藤田千代子氏が、中村哲医師と共した医療活動、命を守るための用水路建設に携わった現地状況など講演内容の特集記事。</p>		<p>令和4年3月1日 23,300部発行</p> <p>R3年度共同募金運動の活動報告とお礼 *福祉用具車椅子の貸出しと使用の際の注意喚起情報を掲載</p>

(3) ホームページ(HP)の随時更新

HPがスマホなどのモバイルにも対応仕様の利点で、いつでも相談できる相談フォーム「福祉なんでも相談」に問合せ等をいただくようになりました。また、各係にて随時情報更新を行うことで、必要な情報を必要な方にお届けすることができました。

令和3年度相談件数31件

(4) 後援名義の使用許可

福祉関係団体やボランティア・市民活動団体等が実施する事業に後援名義の使用を許可しました。

合計17件 25回

No	実施日	事業名	団体名
1	6月26日 7月24日 8月28日	フードパントリー	あーすちゃれんじやー
2	6月26日 8月28日	ママなび舎 (ママのための子育て講座)	あーすちゃれんじやー
3	6月～8月	共遊プロジェクト(自然体験活動)	あーすちゃれんじやー
4	6月～8月	ホット tunagaru カフェ(座談会)	あーすちゃれんじやー
5	6月～8月	ホット tunagaru カフェ (オンライン座談会)	あーすちゃれんじやー
6	7月13日 8月31日 9月7日 9月28日	三井高校減災プログラム	福岡県立三井高等学校
7	11月14日	無料調停相談会	久留米調停協会
8	9月25日 10月23日 11月27日	フードパントリー	あーすちゃれんじやー
9	9月～11月	共遊プロジェクト(自然体験活動)	あーすちゃれんじやー
10	12月25日	ママなび舎 (ママのための子育て講座)	あーすちゃれんじやー
11	9月～11月	ホット tunagaru カフェ(座談会)	あーすちゃれんじやー
12	9月～11月	ホット tunagaru カフェ (オンライン座談会)	あーすちゃれんじやー
13	10月29日	「就労支援説明会」	久留米保護区 保護司会小郡分区
14	11月27日	こどもたちのチャレンジまるしえ	あーすちゃれんじやー
15	12月4日～ 2月14日	小郡市賑わい創出 イルミネーション2021	小郡市賑わい創出イルミ ネーション実行委員会
16	3月20日	児童劇団つばさ第36回定期公演	児童劇団つばさ
17	3月12日	司法書士による無料法律相談会	福岡県司法書士会 筑後支部

(5) ちびっ子広場の遊具修理及びベンチ設置・立て看板配布

子どもの安全のため、立て看板を作成配布しました。また、子どもたちの遊び場、地域の皆様のつどいの場として行政区内地域広場における遊具修理及びふれあいベンチの設置修理を行いました。

◇立て看板

行政区	NO.1 子どもの安全
3行政区	6本 (令和2年度の在庫より)

◇ベンチ設置

行政区数	ベンチ設置	改修	塗装
31行政区	20基	3基	14基

◇遊具修理・撤去

行政区	設置場所	修理内容
4行政区	神社・公民館	ブランコ・シーソー・ メリーゴーランド

